

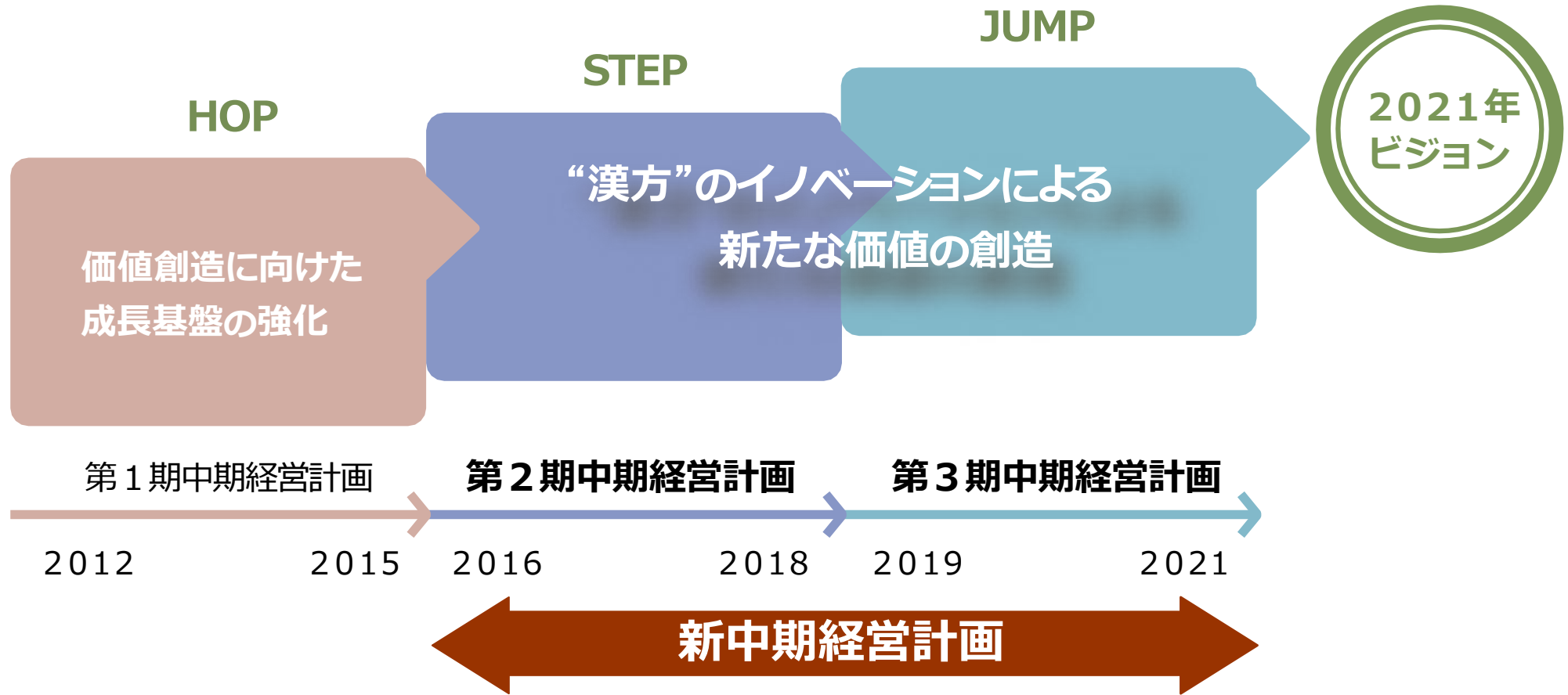
株式会社ツムラ
2016年度第2四半期 決算説明会
(2016年4月1日~2016年9月30日)

2016年11月10日 (木)

代表取締役社長

加藤 照和

長期経営ビジョン実現へのロードマップ



戦略課題

1. 漢方市場の拡大と安定成長
2. 収益力の継続強化とキャッシュ・フローの最大化
3. 中国における新規ビジネスへの挑戦

2016年度第2四半期 決算

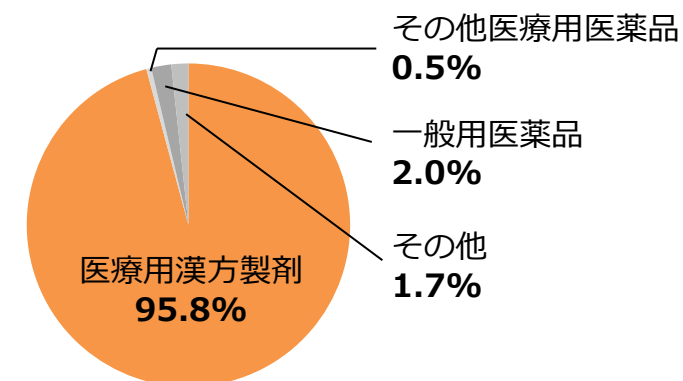
2016年度第2四半期決算の概要

(百万円)

	2016年度 2Q計画	2016年度 2Q実績	達成率	2015年度 2Q実績	前年同期比	
					金額	伸長率
売上高	55,700	56,359	101%	54,560	1,799	3.3%
営業利益 (営業利益率)	6,200 (11.1%)	7,868 (14.0%)	127%	9,855 (18.1%)	-1,987	-20.2%
経常利益	6,300	7,366	117%	10,072	-2,705	-26.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,500	5,311	118%	6,538	-1,227	-18.8%

	2016年度 2Q計画	2016年度 2Q実績	2015年度 2Q実績
配当金 (1株当たり)	32円	32円	32円

売上高構成比



決算のポイント

- 計画超過の第2Q決算。漢方販売の堅調な推移、原料コスト増等により、増収・減益。通期予想は変更なし。

連結売上高 **56,359** 百万円 **計画達成率** **101%** **前年同期比** **3.3%**

- 医療用漢方製剤の販売増等により薬価改定(-3%)の影響を受けながらも前年同期比17.9億円（3.3%）増収。計画達成率は101.2%。
- 高齢者関連領域、がん領域（支持療法）、女性関連領域の重点3領域を中心に、基礎・臨床的エビデンス、漢方掲載の治療ガイドラインおよび漢方医学的な処方を使い分け等に関する情報提供を継続的に実施。
- 特に六君子湯は、新規エビデンスの有効活用、製品集中教育、ターゲット先への活動強化等が奏功した。

営業利益 **7,868** 百万円 **計画達成率** **127%** **前年同期比** **-20.2%**

営業利益率 **14.0** % **前年同期比** **-4.1pt**

- 売上原価率は、薬価改定の影響および生薬関連コストの増加等により、前年同期比4.5ポイント上昇の43.0%。計画に対しては、生産性向上による加工費の改善等により、0.8ポイント下回った。
- 販管費率は、業務効率化に伴う経費抑制等により0.4ポイント低下の43.0%。計画に対しては、経費抑制と研究費等の支払時期ズレ等により、8.6億円（販管費率は2.1ポイント）下回った。

経常利益 **7,366** 百万円 **計画達成率** **117%** **前年同期比** **-26.9%**

- 中国子会社への貸付金に伴う為替差損8.4億円を営業外費用に計上。

親会社株主に帰属する
四半期純利益 **5,311** 百万円 **計画達成率** **118%** **前年同期比** **-18.8%**

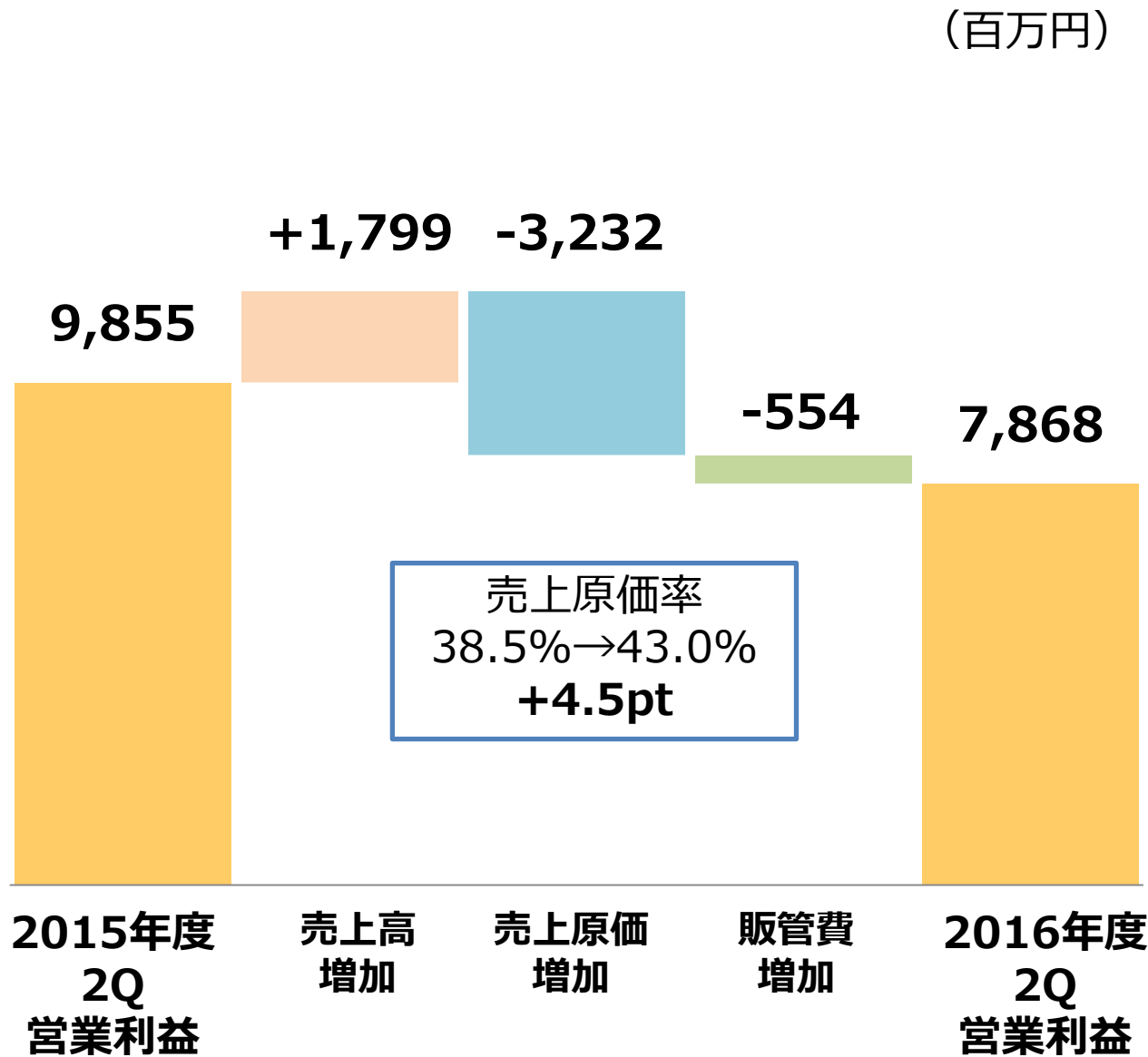
重点品目の売上状況

(百万円)

順位	処方名／製品No.	主な効能・効果	2015年度 2Q実績	2016年度 2Q実績	前年同期比	
1	大建中湯 TJ-100	腹痛、腹部膨満感	5,065	5,212	147	2.9%
2	抑肝散 TJ-54	神経症、不眠症など	3,594	3,712	117	3.3%
3	補中益気湯 TJ-41	病後の体力増強、食欲不振など	3,599	3,630	30	0.9%
4	六君子湯 TJ-43	胃炎、消化不良、食欲不振など	3,257	3,431	174	5.4%
5	芍薬甘草湯 TJ-68	筋肉の痙攣を伴う疼痛など	2,384	2,506	122	5.1%
6	加味逍遙散 TJ-24	冷え症、月経不順、更年期障害など	2,236	2,258	21	1.0%
7	麦門冬湯 TJ-29	咳、気管支炎、気管支喘息	1,972	1,986	13	0.7%
8	牛車腎気丸 TJ-107	下肢痛、腰痛、しびれ、排尿困難など	1,922	1,901	-20	-1.1%
9	柴苓湯 TJ-114	急性胃腸炎、むくみなど	1,702	1,771	69	4.1%
10	五苓散 TJ-17	浮腫、下痢、頭痛、暑気あたりなど	1,560	1,715	155	10.0%
22	半夏瀉心湯 TJ-14	醗酵性下痢、神経性胃炎、口内炎など	616	642	26	4.2%
医療用漢方製剤 1 2 9 処方計			52,280	53,974	1,693	3.2%

育薬5処方

営業利益の増減要因（前年同期比較）



売上高増減内訳

項目	増減額 (百万円)
医療用漢方製剤129処方	+1,693
その他	+106

売上原価率増減内訳

項目	増減額 (Pt)
薬価改定	+1.5Pt
生薬関連コスト	+2.8Pt
加工費の改善	-0.6Pt
その他	+0.8Pt

販管費増減内訳

項目	増減額 (百万円)
販促費、感謝金	+112
研究開発費	-57
広告宣伝費	+18
人件費	+266
その他	+213

財政状態とキャッシュ・フローの状況

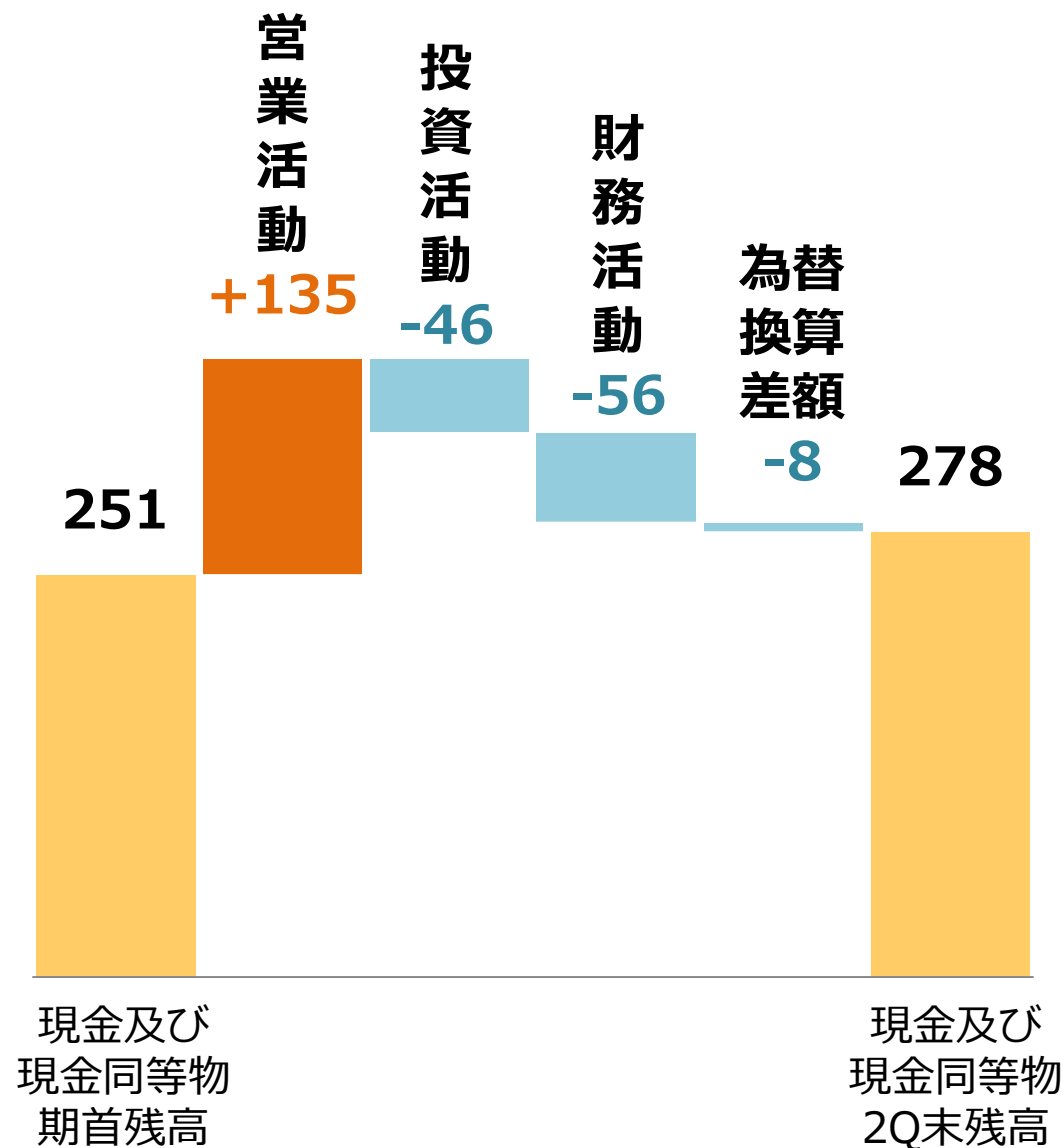
バランスシート

(億円)

	2016年 3月末	2016年 9月末	増減額
資産合計	2,224	2,146	-78
流動資産	1,336	1,291	-45
固定資産	887	855	-32
負債合計	667	651	-15
流動負債	437	419	-17
固定負債	230	232	1
純資産合計	1,557	1,494	-62
自己資本比率	68.8%	68.5%	-0.3pt

キャッシュ・フロー

(億円)

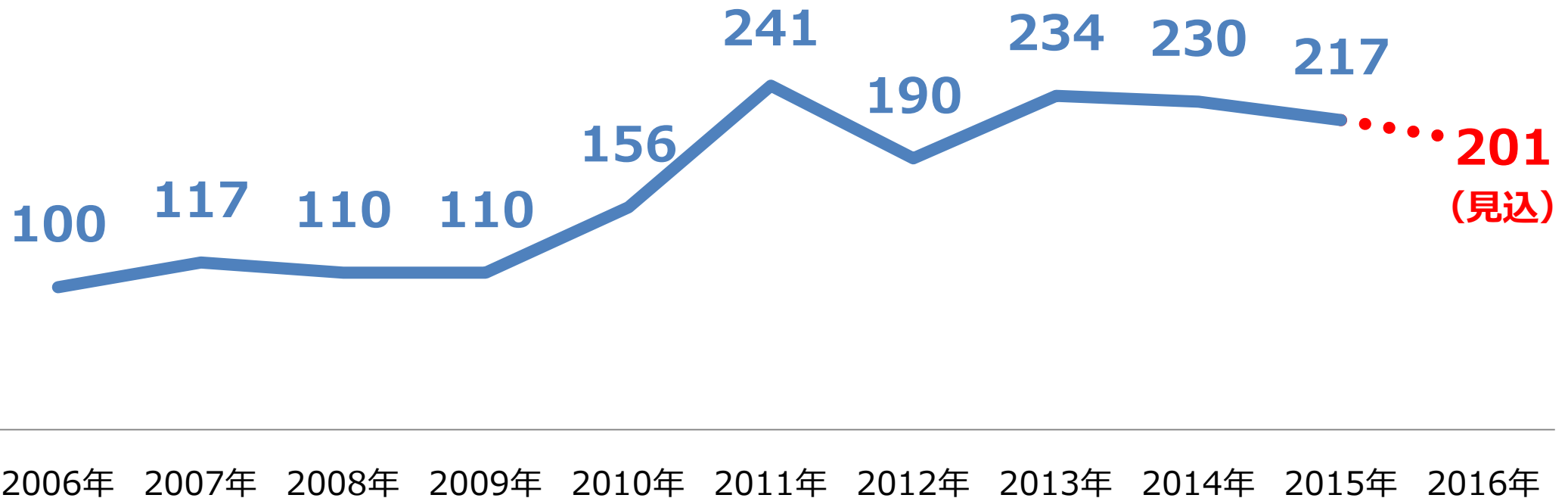


生薬価格の動向予測

中国産全生薬の購入価格

(産地会社→関連会社 実績と見込) 加重平均値
2006年を100とした場合

2016年の購入価格見込について
これまでの「調達手配量ベース」ではなく
「使用量ベース」に換算して算出



2011年
①中国国内での生薬需要増
②天候不順
③投機的買占め

2013年
人參価格高騰など

2015年
人參単価の下落
①投機目的の購買解消方向
②市場への供給量増加

2016年度業績予想

2016年度業績予想

➤ 2016年5月12日付公表の業績予想と変更なし

(百万円)

	2015年度	2016年度予想 (5月公表値)	前期比	
			金額	伸長率
売上高	112,625	115,400	2,774	2.5%
営業利益 (営業利益率)	19,826 (17.6%)	14,500 (12.6%)	-5,326	-26.9%
経常利益	19,494	15,000	-4,494	-23.1%
当期純利益	12,557	10,700	-1,857	-14.8%

	2015年度	2016年度予想 (5月公表値)		自己株式取得 影響を考慮後 の予想値
配当金 (1株当たり)	64円	64円		
EPS	178.06円	151.72円	→	153.75円
ROE	8.3%	6.9%	→	7.0%

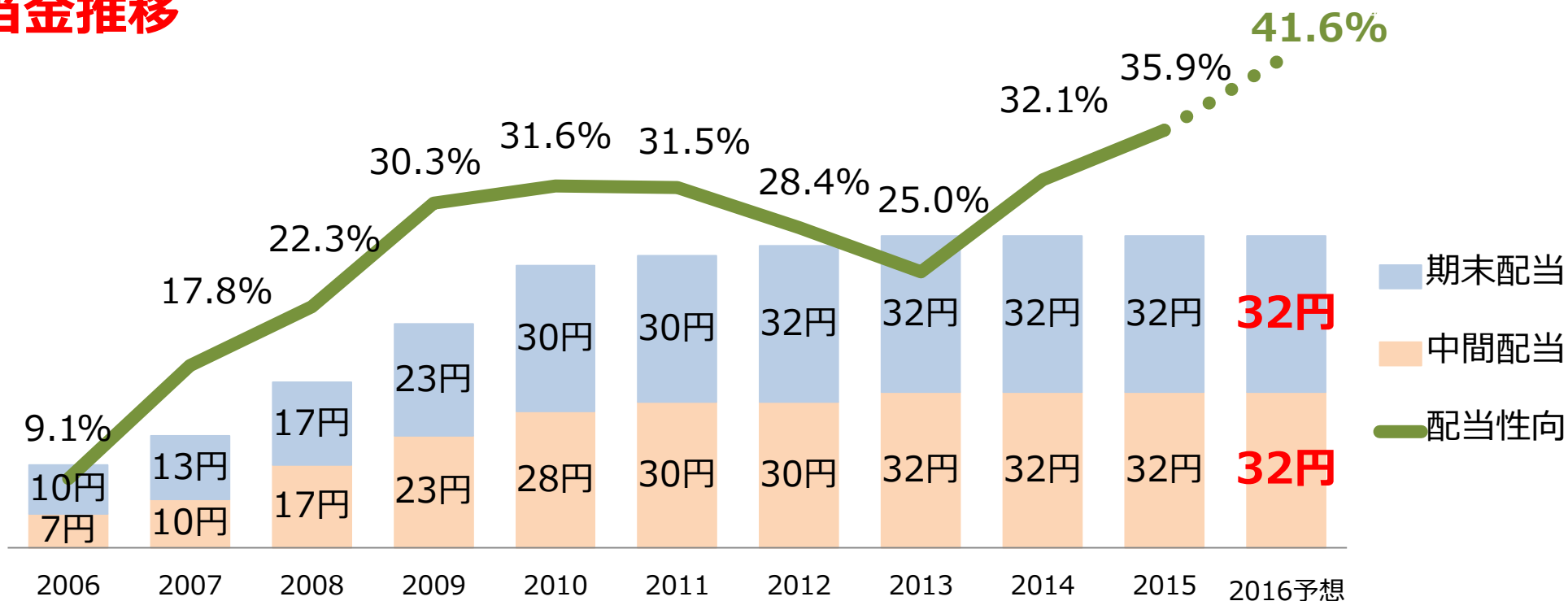
株主還元

株主還元

方針

- “漢方”が持続的に発展・成長するための事業投資を通じて、企業価値の向上を図る
- 中長期の利益水準やキャッシュ・フローの状況等を勘案し、安定配当を実施する
- 最適資本構成の検討・見直しを踏まえた株主還元を努め、市場動向等を総合的に勘案したうえで、機動的な自社株式の取得を実施する

配当金推移



(注) 2016年度の期末配当金および配当性向は、第81回定時株主総会による配当議案が決議された場合の数値を記載

株主還元

自己株式取得

2016年8月4日開催の取締役会において、自己株式取得に係る事項を決議

8月4日決議内容 (同日公表)	実績 (11月2日公表)
■ 取得対象株式の種類：当社普通株式	同左
■ 取得し得る株式の総数：180万株（上限） (発行株式総数（自己株式を除く）に対する 割合2.55%)	1,741,000株
■ 株式の取得価額の総額：50億円（上限）	4,999,708,000円
■ 取得期間：2016年8月5日～10月31日	8月5日～10月27日 (約定ベース)

長期経営ビジョン（2021年ビジョン） 実現に向けて

1. 漢方の**エビデンス**「新たなステージへ」
2. **中国事業**トピックス

漢方のエビデンス「新たなステージへ」

漢方のエビデンス「新たなステージへ」

2004年

育薬の推進 スタート
[西洋医学的アプローチ]
→3処方に集中特化

コンセプト
近年の疾病構造を見据え、医療ニーズの高い領域において新薬治療で難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、エビデンスを確立する。

「漢方製剤には科学的根拠がない」への対応

2009年

育薬処方
2処方追加

大規模RCT
DKTフォーラムなど

国内外トップオーソリティ

厚生労働科研費による
漢方研究

基礎的・臨床的
エビデンスの集積

2013年

製品戦略本部設置
(領域推進の概念導入)

2016年～

エビデンスパッケージ

治療ガイドライン

国家医療政策における
「漢方」への言及

漢方の将来ビジョン研究会
【東洋医学会、日漢協主催】

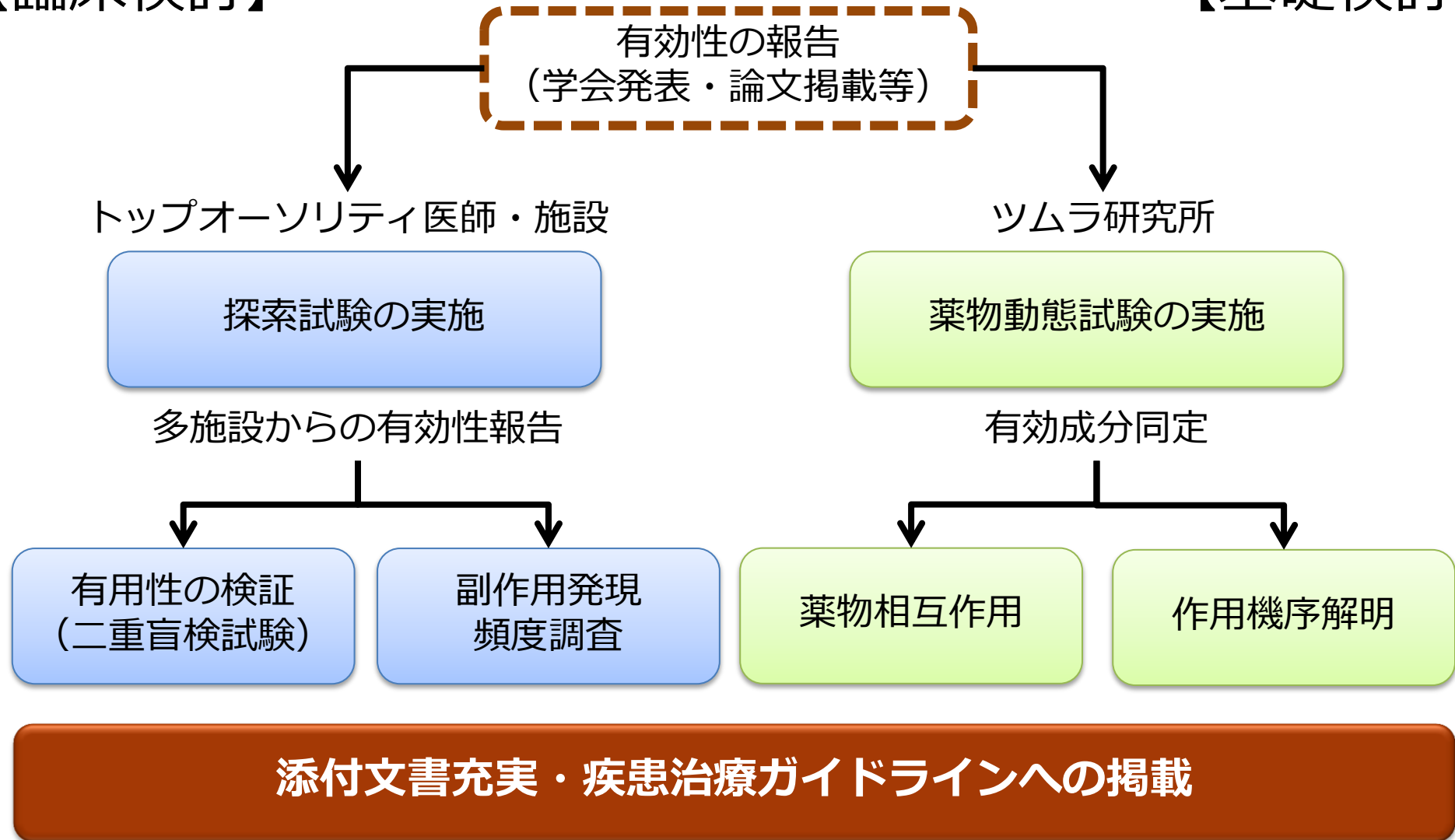
エビデンスの
治療への活用

漢方のエビデンス「新たなステージへ」

■ ツムラのエビデンス構築活動

【臨床検討】

【基礎検討】



漢方のエビデンス「新たなステージへ」

■重点処方エビデンス構築状況

臨床的EBM・作用機序・副作用発現頻度調査・薬物動態(ADME)・医療経済学的データ

	処方名/製品No.		メタ解析	RCT	作用機序	副作用発現頻度調査	薬物動態ADME	ガイドライン掲載
育薬処方	大建中湯	TJ-100	論文投稿中	25	◎	◎	◎	小児慢性機能性便秘症診療、全身性強皮症診療
	抑肝散	TJ-54	2	12	◎	◎	◎	認知症疾患治療、かかりつけ医のためのBPSDに対応する抗精神病薬使用GL(第2版)
	六君子湯	TJ-43	—	18	◎	実施中	◎	機能性消化管疾患診療、心身症診断・治療、GERD診療、全身性強皮症診療
	牛車腎気丸	TJ-107	—	14	△	—	○	前立腺肥大症診療、過活動膀胱診療、神経障害性疼痛薬物療法
	半夏瀉心湯	TJ-14	—	5	○	—	—	—
G処方	補中益気湯	TJ-41	—	9	○	—	—	女性下部尿路症状診療
	芍薬甘草湯	TJ-68	—	8	△	○	◎	筋萎縮性側索硬化症診療
	麦門冬湯	TJ-29	—	5	—	—	—	咳嗽、EBMに基づいた喘息治療
	加味逍遙散	TJ-24	—	4	—	—	—	産婦人科診療、心身症診断・治療
	五苓散	TJ-17	—	2	—	—	—	慢性頭痛の診療

2016年度KPIに対する進捗状況（10月末現在）

(注) 上記◎○△は、研究論文の数や充実度等に基づき段階評価して表記（自社基準）

項目	目標	現在
論文数	50	39
インパクトファクター	100	90.061
疾患・治療ガイドライン掲載数（累計）	25	23

漢方のエビデンス「新たなステージへ」

■ 高齢者医療における漢方のエビデンス

- 高齢者精神神経疾患（BPSD、睡眠障害など） ➡抑肝散ほか
 - 誤嚥性肺炎の既往を持つ患者における嚥下反射・咳反射の改善、肺炎発症の抑制 ➡半夏厚朴湯
 - 脳卒中後遺症における機能性便秘、腹部術後早期の腸管蠕動運動促進 ➡大建中湯
 - 慢性閉塞性肺疾患における自覚症状、炎症指標及び栄養状態の改善 ➡補中益気湯
 - グレリンプロジェクトの研究成果 ➡六君子湯 ...など
- ◎ 加齢に伴うフレイル・サルコペニアへの対応 ➡漢方製剤の有効活用

厚生労働省
「新オレンジプラン」

漢方の将来ビジョン研究会
【東洋医学会、日漢協主催】
における提言

漢方のエビデンス「新たなステージへ」

■がん領域における漢方のエビデンス

□ 抗がん剤等による副作用の軽減

- ・ 抗がん剤投与に伴う末梢神経障害（しびれ・痛み） ➡ 牛車腎気丸
- ・ 抗がん剤投与や放射線療法に伴う消化管粘膜障害（下痢・口内炎）
➡ 半夏瀉心湯
- ・ 抗がん剤投与による悪心や食欲不振 ➡ 六君子湯

□ がん患者のQOL向上

- ・ 体力低下、免疫力低下 ➡ 補中益気湯、十全大補湯
- ・ がん悪液質（食欲不振） ➡ 六君子湯
- ・ 手術後のせん妄（神経症） ➡ 抑肝散

...など

厚生労働省
「がん対策加速化プラン」

漢方の将来ビジョン研究会
【東洋医学会、日漢協主催】
における提言

漢方のエビデンス「新たなステージへ」

■ 女性関連領域における漢方のエビデンス

- 精神神経症状、睡眠障害および血管運動神経症状等を伴う更年期障害
➡ 加味逍遙散
- 乳がんホルモン療法に伴う更年期障害様症状（ほてり） ➡ 桂枝茯苓丸
- 子宮内膜症などに伴う月経困難 ➡ 当帰芍薬散
- 泌尿器科領域
・ 夜間頻尿 ➡ 牛車腎気丸

...など

◎ 女性のライフステージごとのケア ➡ 漢方製剤の有効活用

「女性活躍推進法」
成立・施行

漢方のエビデンス「新たなステージへ」

■エビデンス構築の新機軸

システムバイオロジー

- オックスフォード大学 イノベイティブ システムズ バイオロジー プロジェクト TJ-68（芍薬甘草湯）の臨床研究、モデリング解析を用いて作用メカニズム解明
- SBI（システムバイオロジー研究機構）との共同研究
 - 【基礎】 マッピング技術を用いた多成分系薬剤の作用メカニズム解明
 - 【臨床】 動物実験結果のヒトでの検証
 - 【臨床】 薬物相互作用・副作用高頻度発生リスク因子解析（クラスタリング・ネットワーク解析）など

腸内細菌・メタボロミクス

シカゴ大学 TU-100（大建中湯）の腸内細菌に対する影響：論文公表済み

ビッグデータ

東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻臨床疫学・経済学
東京大学大学院医学系研究科ヘルスサービスリサーチ講座
「医療ビッグデータを用いた漢方薬研究」

漢方のエビデンス「新たなステージへ」

■厚生労働省の施策

- 健康日本21（二次） 健康寿命、生活習慣病の発症・重症化予防
- 新オレンジプラン 認知症施策推進
- 地域包括ケアシステム 総合診療医、在宅医療の推進
- 医薬品産業強化総合戦略
 - ➔ 「医療を支える必須医薬品又は伝統的な医薬品、例えば、ワクチン、輸液製剤、漢方製剤、外用製剤等については、引き続き今後も質の高い製品が安定的に供給されることが求められる。」等の記載あり
- がん対策加速化プラン
 - ➔ 「術後の合併症・後遺症を軽減する観点から、栄養療法、リハビリテーション療法や漢方薬を用いた支持療法に関する研究を進める」の記載あり

超高齢者社会が進む日本において「健康寿命の延伸」に寄与するために漢方製剤のさらなる「エビデンス構築」と「臨床での有用性」を高めるための取り組みを加速させ、費用対治療効果の高い治療薬としてのプレゼンスを確立させる。

中国事業トピックス

中国における新規事業（中薬配合顆粒事業）

■ 最近の主な動き

- 2016年7月
上海市薬材有限公司（上海医薬集団の子会社）との間で合併会社設立
- 製造承認に向けた試作を実施中
- 工場用地（上海地区）の取得を準備中
- 中国ホールディング・カンパニーの設立を準備中

中薬配合顆粒生産、日本向け生薬・エキスの輸出等、既存事業と新規事業にまたがる中国におけるサプライチェーン・人財・資金を統括管理

生薬の提供を受けている中国、中国国民の健康への貢献

中国市場へのチャレンジ

參考資料

新中期経営計画（2016-2021年度）の戦略課題

1. 漢方市場の拡大と安定成長

- 大学病院、臨床研修指定病院等においては、重点領域の専門医等へのエビデンスを中心としたプロモーション活動により市場拡大を図る。
- 開業医・診療所等においては、漢方医学的なプロモーション活動によって、既存先を中心に漢方習熟度を高めていただく。
- 大学医学部、臨床研修指定病院等における漢方医学教育の充実に向けた支援活動を継続する。
- エビデンス・パッケージの充実により、育薬処方とそれに続く戦略処方である Growing処方の治療ガイドライン掲載を目指す。
- 新技術を活用した漢方研究により、エビデンス構築の新基軸を確立する。

2. 収益力の継続強化とキャッシュ・フローの最大化

- 自社管理圃場の継続拡大により生薬の価格安定と品質保証のさらなる強化を図る。
- 既設生産基礎能力の向上、新生産技術の継続導入・拡大等により生産能力の向上を図る。
- グループサプライチェーンの最適化等により収益力・キャッシュ創出力の強化を推進する。
- 販管費において中長期的な視点から経営の意思を反映した効率的な資源配分を行う。

3. 中国における新規ビジネスへの挑戦

- 長年にわたって生薬の提供を受けている中国、中国国民の健康への貢献をも意図して、中国市場の新規ビジネスにチャレンジする。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社ツムラ
コーポレート・コミュニケーション室
I R 推進グループ
TEL : 03-6361-7101

見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 現在発売している主要製品が、万が一製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。